

陳 情 文 書 表 （令和4年9月8日定例会提出）

陳情第31号

奈良市が県域水道一体化の参加について慎重審議をすることを求める陳情書

令和4年8月24日受理

陳情者



平 川 邦 昭

（陳情趣旨）

これまでの一体化の協議の経過、奈良市主催の懇談会の協議を見ても、奈良市民には何のメリットもないことがはっきりしてきました。県域水道一体化を担う企業団の姿が見えない中、企業団に白紙委任することは反対です。慎重な審議を求めます。

（理由）

1. この一体化によって、水道料金は5年に一度上がると聞きました。安全で安価な水を守ってください。
2. 木津浄水場を廃止し、緑ヶ丘浄水場1か所にすると聞きました。地震など大きな災害が発生したときのことを考えると不安です。
3. 一体化になると、水道のことは市民の知らないところ（企業団）で決められます。奈良市議会で水道問題を議論することができなくなると聞きました。住民の声が届かなくなります。
4. 一体化の後には、水道の民営化が行われるのではないかという声を耳にします。心配しています。

上記、陳情します。